

BCAO仙台地域勉強会（2020年12月4日）議事録  
（「企業・組織のBCP／防災勉強会@仙台」と合同開催）

1. 日 時：2020年12月4日（金）17時から18時30分まで
2. 場 所：ZOOM
3. 参加者：<50音順>（敬称略） 計13名  
\*事務局：丸谷（災害研）、田中（災害研）、伊藤（東北大公共）、三澤（東北大公共）、和田山（東北大公共）

議事①：「東京都港区での中小企業BCP講習ワークショップの先行体験実施」

説明：東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明

ワークショップの資料に基づき、各社の代替拠点への移動の判断ラインについて検討

○質疑応答（Q：質問 A：回答 C：コメント）

なし

議事②：「東急ファシリティサービスの新型コロナ研修資料の体験について」

説明：東急ファシリティ 真城源学

\*説明、質疑応答については、社内秘事項もあると思われるために議事録では省略する。

議事③：同業他社からの代替供給に関する契約・協定について

Q：国内事業所は似たような場所にあり、地理的に離れた場所に代替拠点が必要でないかと考えている。同業他社と代替拠点という観点から協定を考えることができるか。

A：あまり事例は多くないが、メッキ業界の事例はある。熊本地震の際の取組みを、BCAOで表彰したことがある。協定のポイントは、復旧後に顧客を戻してもらうことを明記して信頼関係を持つことなど。利益やコストの分担、責任や品質保証などの契約、平常時の特許の機密保持の契約、その特許を利用するかのルールも定めておく必要があるかもしれない。平常時から業務提携があれば機密保持のルールなどの整理は行いやすいだろう。

また、新潟と神奈川のメッキ業界団体が協定を作った際には弁護士に依頼して協定文を作成して貰ったはず。

C：当社は、供給責任があるため、東日本大震災を起点として同業他社と協定を作成した。

作成のために研究会を設け、BCPを共同で作成し被災時の物資の融通について規定した。

Q：協定を結ぶ際に、法的、技術的な面で留意したことはあるか。

A：協定作成の際に法的な面で助言を受けたことは聞いている。